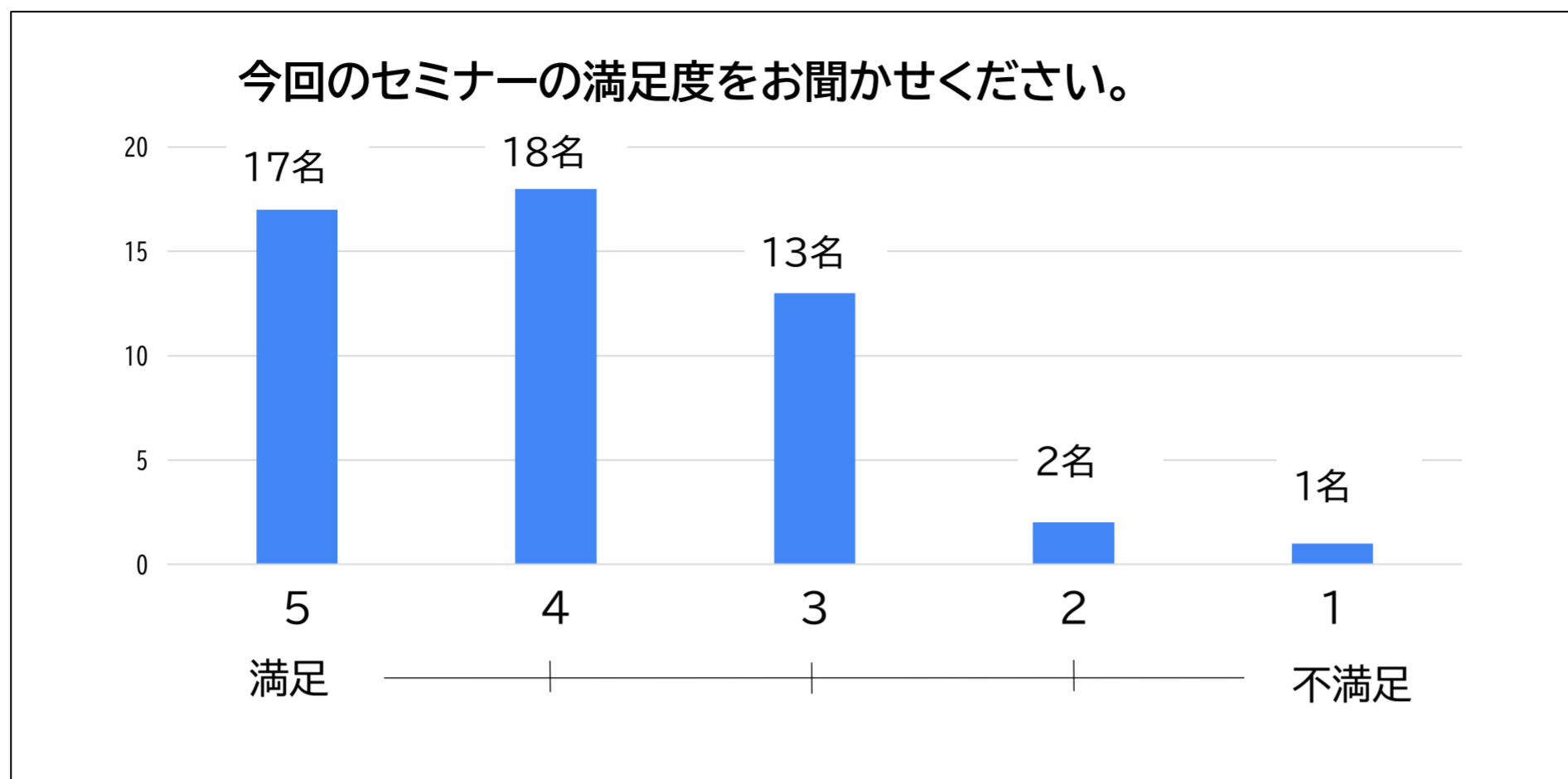


第13回 多職種連携 医療・福祉セミナー(令和2年11月19日開催)
「これまでの制度の流れと今後がわかる！福島市の現状と2021年介護保険制度改正の方向性」

ライブ配信視聴者:99名 視聴回数:202回 アンケート回答者:51名(回答率:51.5%)



今回のセミナーに関するご意見等について(アンケートより一部掲載)

良かった点

福島県の現状についてもお話くださり、制度だけではなく現状も踏まえたうえでのお話なのが良かったと思います。

- ・今後の事業所運営やケアマネとしてのビジョンを明るく持てるような内容でした。
- ・介護保険の変遷など表による説明で分かりやすかった。
- ・発声がクリアでスピードがちょうど良く、聞きやすかったです。
- ・今後の改正の方向性について理解でき、大変ありがたかったです。また、休憩を挟んでの研修であったため最後まで集中して参加させていただけました。
- ・課題が整理されていて解りやすかった
- ・新しい視点からの話が聞けた。よかったです
- ・Webでの講習は自分の時間で視聴できるのでとてもよかったです。
- ・BCPのガイドラインの事を聞くことが出来て良かったです。
- ・数値から現在の福島の状況を知ることができました。今後感染症や災害への対策の強化が必要不可欠ではあるが、難しい現状があると感じている。制度改正で介護医療が良い方向へ行くと良いと思っています。ありがとうございました。

悪かった点

- ・介護保険の改訂点をもっと聞きたかった。
- ・後半の進みが早く、資料にない部分がうまく理解できないところがありました。
- ・一般介護予防事業の推進を図るにおいて、介護予防と保険事業を一体的に実施することの重要性をわかりやすく説明していただきました。強いて言えば、医療関連との話をもっと掘り下げてもらいたかったです。
- ・内容が多いのか、時間が足りなかった。
- ・もう少し具体的な内容を期待していた。
- ・改正の具体的な内容見通しをもっと伺いたかった。
- ・サービスに応じた制度改定について話が聞きたかった
- ・これからの方向性を考える良い機会となったが、時間が短く感じもっとゆっくり話を聞けると良かった。

気づいた点、ご意見

- ・福島の現状を踏まえた上で、どのような視点を持って対応していくかの道筋が見えました。
- ・振り返りも踏まえ、今後の動向やCMの業務から外へ視点を向ける重要性が再確認できました。
- ・まず、福島県の現状(人口・高齢化率等)を改めて確認することができ業務・事業について意識を高めることができました。また、今後私たちに求められる視点や介護予防等の支援すべき方向を理解することができました。
- ・国の施策や考え方について理解が深まったと感じた。
- ・ケアマネ自身が今後変わっていかなくてはいけないと感じました。
- ・データとしての可視化がわかりやすかった。
- ・改めて福島県の現状が把握できとても良かった。
- ・コロナ禍で対面および集合での情報収集が困難になっている現状で、最新情報の随時取得の機会を確保したいと考えています。
- ・視聴環境が整っていないこともあり、まだまだ浸透するには時間がかかると思います。
- ・居宅事業所はそもそも赤字で、その対応策が事務員配置ということですが、それで解決することではないと思います。